

# 米倉教公の週間為替市場見通し

4/18 日週号

## 『ドーハ増産凍結合会結果次第！』

ドル/円予想レンジ 107.00 - 110.00 円

### ■前週の市場動向

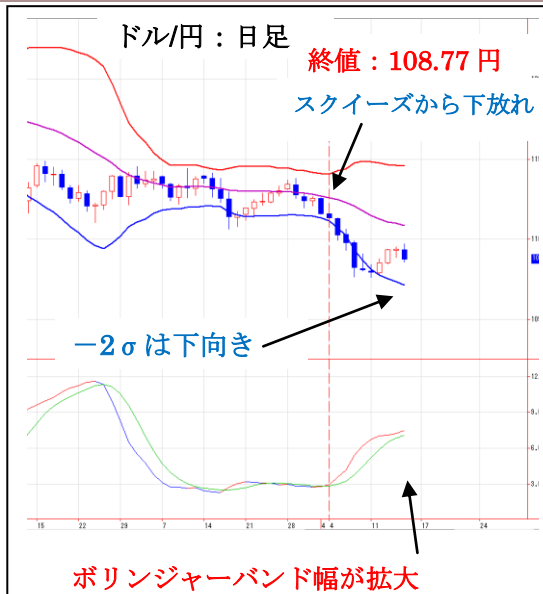
前週のドル/円の週足では、3ぶりに陽線引けとなった。一時2014年10月27日以来の107.60円を付けたが、終値は108.77円で引けた。先週の変動幅は2円13円とボラティリティの高い週が続いている。週明けは、日本株の下落を嫌気したリスク回避の円買いが強まり一時安値を付けた。翌12日は、麻生財務相の円高けん制発言や株価が堅調推移したことが支えとなり、108円台後半まで円安が進んだ。13日は、中国3月貿易収支で輸出額が市場予想を大幅に上回ったことで中国景気減速懸念が後退したことや、日米の株価が大幅上昇したことでリスク選好のドル買いが強まり、109.40円台まで円安が進んだ。14日は、シンガポール金融通貨庁が予想外の金融緩和を実施し、ドルがシンガポールドルで急伸すると、ドル買いが強まり109円半ばまで上昇した。ただ、米3月消費者物価指数が予想を下回ったことで相場の重しとなった。15日は、下落して始まった日本株が一時プラス圏を回復すると109.70円まで上昇する場面があった。しかし、週末の利益確定売りや重要イベントを控えて上値が重くなり108円台後半で終了した。

### ■今週の注目点：今週の注目はドーハでの増産凍結合会の行方

今週は、原油価格の底入れを目指し増産凍結を協議する17日ドーハで開催される産油国会合に注目が集まる。イラン石油相はこの会合に石油相が参加しないことを発表し、増産凍結には参加しない方針を打ち出している。しかし、サウジアラビアがイラン抜きでも原油価格を下支えする凍結方針を示したため、期待感が広がっている。会合で期待通りに生産調整で合意された場合は、原油価格が50ドルまで上昇するとの見方も一部にある。その場合、原油価格の上昇により、先進国のデフレ懸念、成長悪化警戒感が後退することでリスク選好の動きとなる可能性が高い。一方で、合意に失敗した場合は、原油下落に伴い株安がリスク回避の円買いを加速させる可能性もある。ECB定例理事会では、3月に追加緩和したばかりなので現状維持と見られる。

### ■テクニカル的な見解

4月5日付のシカゴIMM投機筋の対米ドルの差し引き持ち高で、円は前週の+60,073から+66,190へと円の買い持ち高は少なくとも1992年来で最大となった。投機筋による円買い圧力が強まっている。また、ボリンジャー・バンドの日足では、20日バンドがスクイーズ（バンド幅の縮小）後から下放れ後マイナス2σは下向きを維持していて、ドル下落トレンドを維持している。今週はドーハでの原油増産凍結が合意されると原油価格の上昇からリスク選好の動きとなる可能性があり、その際は投機筋からのストップロス巻き込むドル買い・円売り再燃する可能性も残る。原油価格がドル/円動向を左右しそうだ。ドル/円の上値目途は、4月15日高値109.73円、3月29日高値と4月11日安値の半値戻し110.70円、20日移動平均線110.85円、一方で下値は4月11日安値107.60円、節目となる107.50円や107.00円が目途となる。



### ★先週の気になる出来事

G20出席のためワシントン入りした『ドン麻生』こと麻生財務相は、ルー米財務長官との日米財務相会談という公式な会談を終えて、『上海G20でドル高是正の密約は無かったと会談で確認した』と発言した。『根拠なき噂』に市場がどうしても知りたかったことを、難なく直接訊いてしまうところがさすがに『ドン麻生』の所以なのだろう。まあ、本当は密約があったとしても、『ありました』とはルー米財務長官も言わないと思うが。。。でもさすが『ドン麻生』怖いもの知らず！

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。